



## 目次 -Contents-

1	講習会のご案内 .....	2
2	建築士事務所キャンペーン 基調講演会概要 .....	3
3	会議のご報告 .....	7
4	平成27年度九州・沖縄ブロック協議会 第2回会長会議報告 .....	10
5	各支部よりお知らせ .....	11
6	会 員 動 静 .....	17
7	事務局よりお知らせ .....	18

## 建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

## 管理建築士講習

- 平成28年 3月23日(水) **受付** 平成27年11月18日(水)～平成28年2月29日(金)  
**会場** 福岡建設会館7F **【定員28名】**

## 《 お申込書の配布方法 》

- 1. (公財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ:<http://www.jaeic.or.jp/>

※平成26年度の申込書では受付ができません。必ず平成27年度の申込書をご使用ください。

- 2. (一社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

尚、申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。ご了承ください。

平成27年11月16日アクロス福岡にて開催された建築士事務所キャンペーンにて、三浦 紀之 氏に基調講演を頂きました。簡単ではございますが講演内容を掲載させていただきます。

## 大きな建築・小さな都市計画

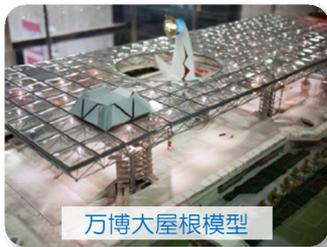
(株)三浦紀之建築工房 三浦 紀之

### ■自己紹介

- ・大学卒業後、磯崎アトリエで福岡相互銀行大分支店の仕事を担当。
- ・1970年の大阪万博の基幹施設のプロデューサーオフィスに出向、丹下健三さんのプロジェクトに参加。広場の基本計画からデザインを担当。
- ・博多駅前シティ銀行本店の設計を担当。
- ・富士見カントリークラブを担当後、福岡にて独立。



福岡相互銀行  
大分支店



万博大屋根模型



シティ銀行本店



富士見カントリー倶楽部

### ■大きな建築と都市の軸線

#### ● ホテル海の中道

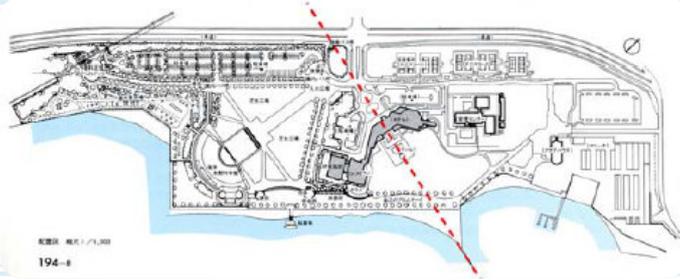
1975年頃から福岡で独立し、看板を掲げさせて頂いております。当時の博多と言えば、山陽新幹線が博多まで開通したばかり。人口は90万人に満たず、都市のイメージも模索中といった時期でした。集合住宅の仕事では、4LDKの戸数がいくつ積み上がるか、味気ない隣棟間隔に重心を置いた配置計画ではなく、中庭空間に置き換えた低層集合住宅の作品を発表した頃、海の中道公園内に宿泊棟の提案をする機会を得て、躯体工事の発注者である住宅都市整備公団の理事会によって選ばれました。内外装の設計・デザインはもとより、ティーラウンジのソファもデザインさせて頂きました。これは三井グリーンランドに隣接したホテルヴェルデの設計に繋がっていきます。

改めて福岡の景観を見直すと、博多湾のスケールの程よさ、能古島・志賀島の立地関係は理想的です。しかし難点がひとつ。福岡の街の建物は採光のために南側を向いているため海ノ中道側から博多湾を臨むと、建物がそつぽを向く形になっているのです。このことは後ほど百道のプロジェクトでファサードを北側にする際に最大限の努力を払う原因になりました。ちなみに港町の代表といえば横浜、神戸ですが、これらの都市は太平洋を向いているために採光面が海側です。海からの写真をよく見かけますね。さらに福岡の港は港湾施設や倉庫郡で埋め尽くされているため、博多湾を意識した住宅郡が計画されたのは百道やアイランドシティが初めてだったと思います。

さて志賀島側から市街地を見る問題については次のように解決しました。海の中道海浜公園は米軍施設の払い下げによって誕生した公園です。計画地に当時の埠頭が残っておりそれを中心軸とすれば博多湾越しに福岡市街地を見ることができます。建築で博多湾を取り囲むことで博多湾の景観と建築が一体になるというイメージは、ウォーターフロントという都市的な時流と合い、この計画で「都市の中の軸線」を考える契機となりました。



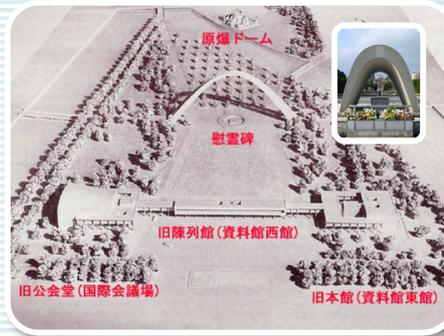
この軸線上にある建築の配置を海辺を取り込んだ形態にすることにより、何処にでもある浜辺の風景を建築と一体となって複数のプールとあわせて中庭空間化することで、リゾートホテルとして成立したと考えております。



### ● 都市の軸線とは？

さて都市の軸線を考えるにあたり、教科書的なお手本が丹下健三さんの広島のピースセンター。丹下さんは計画の中で都市の軸線を大事にされた方で、ピースセンターでは原爆ドームを中心として象徴的に捉えました。

身近な軸線の例をもうひとつ。古来より都市の軸線として据えられたのが参道ですが、その良い例が宮崎宮。山笠の塩い取りの儀式があったからか、神宮と博多湾が一本の軸線として通った参道が残っています。



### ● ザ・レジデンシャルスイート・福岡

百道のザ・レジデンシャルスイート・福岡の設計は、砂漠のような埋立地にリゾートの雰囲気を持ったホテルを建造するという計画です。博覧会の後に埋め立てられた人工的な台地に高層ビルが2本並列して並ぶ形状でした。しかしこの形では建物が重なり、1棟からはもう1棟の裏側を眺めることになってしまい、せつかくの海を眺めることができません。この問題を解決するために、2列ではなく5本の塔を建てることにしました。塔と塔の間隙から博多湾を見ることができ、また円筒状にすることで塔同士の間隙を最大まで広げることができます。海とは離れていても海を感じられる建物にしたい、そこからリゾート的な雰囲気を表現したいと考えました。



### ● 別府北浜のプロジェクト

別府北浜のプロジェクトは、かつての北浜の栄華を復活するための「絵」を描いてほしい…という希望を頂いて始めたのですが、この計画は特に具体的なものになったわけではありません。自分自身のトレーニングのために考えたのですが、ご紹介だけさせて頂こうと思います。

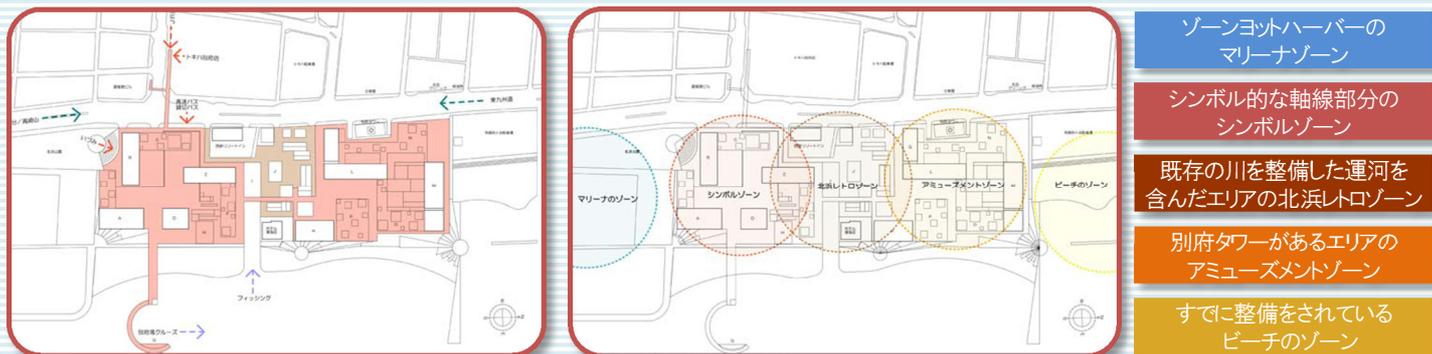
別府湾は湯煙が上がる扇状地です。さらに市域に標高1374.5mの鶴見岳を持ち、別府特有の景観を生んでいます。北浜は別府湾から日が昇り、鶴見岳に日が沈む東西軸の上に位置しています。その軸線を活かすことで景観を馴染ませることができると考えました。



別府の旧市街地は占領後の米軍兵士の休息地として位置づけられ爆撃を免れ

たため、市中のいたる所に昭和のレトロ感が漂っています。新旧が入り混じっていることで都市の面白さや奥行き間といった魅力が出てきます。さらに面白いことに都市の真ん中にヨットハーバーがある街です。これは葉山や江ノ島、コートダジュールといったリゾート都市の典型であるのにそれが全く活かされていません。そこで大型のヨットが停泊できる埠頭も織り込みました。さらに計画地の中央に用水路があるので、運河にして別府湾で獲れた魚を水揚げできる漁港を内包しようと考えました。これがもう一本の軸線です。

計画地そのものには様々な利権が入り交じっているため、その上に人工地盤を設定しました。人工地盤の下には道路や駐車場などの都市インフラとし、人工地盤は護岸とレベルを合わせて歩行レベルから別府湾を望むことが可能です。さらに北浜は国道10号線と別府湾の間にあり、海側に直接面しているという大きな利点があります。計画地を湾に面して5つのゾーンに分け、性格付けを行いました。



- ゾーンヨットハーバーの  
マリーナゾーン
- シンボリックな軸線部分の  
シンボルゾーン
- 既存の川を整備した運河を  
含んだエリアの北浜レトロゾーン
- 別府タワーがあるエリアの  
アミューズメントゾーン
- すでに整備をされている  
ビーチのゾーン

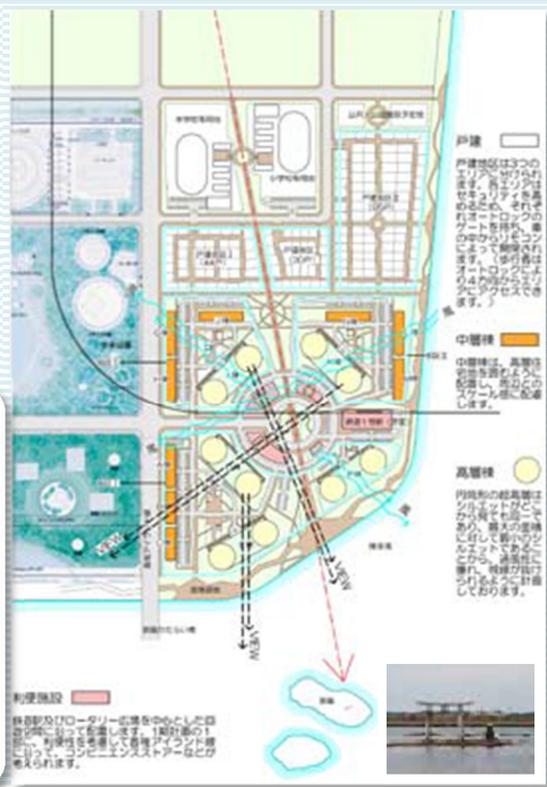
これらのエリアは人口地盤を経由して自由に回遊できます。計画に時間差が生じ、ばらつきが生じても許容できる配置です。そこに配置する建物を想定して絵を描いたのですが、権利的・資金的な背景がある事業計画ではありませんでした。

リーマンショックの影響などで恐らく日の目を見ることは無いと思いますが、せっかくなのでこの講演でお披露目させていただきます。

### ● アイランドシティ計画

とあるゼネコンさんのご依頼でコンペに参加したプロジェクトです。参加するからには何か実りのあるものにしたいと考えました。

アイランドシティの南東に鳥居のある小さな岩場があります。三韓征伐で新羅出兵のおりに、神功皇后が髪を下ろして男装したと日本書紀にでてくる御島ですが、開発で存在感が薄くなっています。香椎宮もこの御島と関係があるようですので、この島を中心に軸線を引き、歴史と開発という矛盾するものを象徴的に示してみました。ぽつんと石碑を建てるだけで解決済みとするのではなく、逆にそれをヒントにして説得力を得ようと考えました。

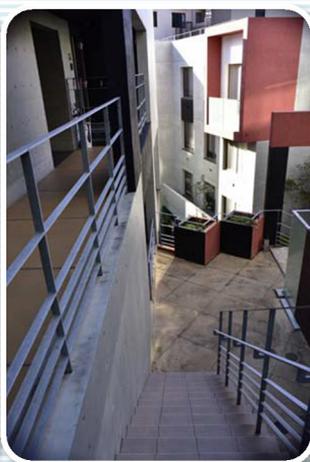


## ● 小さな都市計画

さて今まで大きな地域の括りでの建築計画のお話をさせて頂きましたが、最後に身近な住宅の計画についても触れてみたいと思います。

桜坂に自宅と事務所の兼用住宅を建てて約30年になりますが、坂道が急で来客の評判がすこぶる悪いのです。戦前から北側に住まれていたお隣さんが家を売却して郊外に引っ越すという話を聞いたので、スポンサーを見つけて何とか

ならないかと考えました。途中でリーマンショックに遭いスポンサーさんも私も大変な目に遭いましたが、時間が解決してくれました。おかげで3階建ての低層集合住宅が実現し、我が家は上り坂が緩やかになりました。



ここでは路地がコンセプトです。傾斜地で複雑な地形をしていることから、迷路のように曲がりくねった楽しい一角ができました。賃貸マンションで決して家賃は安くないのですが入居率は高いです。複数の住宅群の計画でしたが、そんなに大きくないので「小さな都市計画」と称して紹介させていただき、講演を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

# 3

## 会議のご報告

### 第11回 常任理事会議 記録

日時 平成28年1月13日(水)15:00～17:00

会場 一般社団法人 福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局10名参加

#### 1. 協議事項

##### ①平成28・29年度会長候補者の推薦について

##### ②平成28・29年度会長候補者選考委員の選出について

選任方法については、9月30日開催の平成27年度第3回理事会で決議したとおり、各支部より当該支部内で会長候補者として適任であると思われる方1名を平成28年2月5日までに推薦いただき、適任の方がいない場合は、該当者なしと回答いただく。なお、締切りは2月5日を厳守し、それ以降は受理しないこととする。各支部から会長候補者の推薦後、各支部より2名ずつ選出された会長候補者選考委員による委員会を開催し、協議のうえ平成28・29年度会長候補者を決定し、平成28年度通常総会で決議することとする。

##### ③平成28・29年予算、事業計画の作成について

平成26年4月1日に一般社団法人に移行したことにもない、事業計画、予算について、事業年度開始の日の前日までに理事会の承認を受けなければならないとなっており、県本部、各支部連結の事業計画、予算作成の必要があるため、各支部に2月中の事業計画、予算提出の依頼がなされた。

##### ④平成28年度通常総会日程、会場等について

平成28年度通常総会の担当支部等についての提案がなされ、以前取り決めしたとおり役員改選があるため、福岡支部担当により開催することが決定した。総会の日程、会場については、見積りと会場の空き具合を事務局から複数のホテルに問合せ資料を取り寄せ、次回常任理事会で決定する。

##### ⑤平成28年建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について

##### ⑥自民党県議団からの自由民主党政経セミナーのご案内について

##### ⑦山本幸三衆議院議員からのチケット購入依頼について

##### ⑧平成27年度九州・沖縄ブロック協議会第2回会長会議出席者及び協議事項の回答について

##### ⑨平成27年度九州・沖縄ブロック協議会次回事務局会議の開催について

##### ⑩会誌「日事連」「美術館・博物館巡り」の寄稿について

##### ⑪「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準」講習会后援の依頼について

##### ⑫平成28年春の「建築防災週間」特別事業実施について

#### 2. 報告事項

##### 県本部関係報告

##### ①平成27年度新入会員オリエンテーション実施について

##### ②平成27年度研修ツアー実施について

##### ③指定事務所登録機関関係報告

##### ④法定講習実施報告、実施計画について

##### 日事連関係報告

##### ①WEB会議の接続テスト実施のお知らせについて

##### ②「超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動への対策案」に関する意見募集(パブリックコメント)について

##### ③その他

##### ①福岡市証紙等販売窓口について

##### ②次回常任理事会スケジュール ……平成28年2月10日(水)15:00～ 事務局

## 第4回福岡県建築士事務所政経研究会立上げ検討委員会記録

**日時** 平成28年1月26日(火)15:30～17:00

**会場** ㈱アースコーポレーション会議室

**出席者** 会長：井上 精二 委員長：岩本 茂美 副委員長：早田 倫明

委員：西 洋一、高崎 徳彦、山本 一郎、中山 俊治、桜庭 公生、永野 和則、高巢 光男

オブザーバー：林 カツ子、久松 博幸、金子 英造、藤本 孝行、小野 繁男、望月 昇、佐々木 雄一

### 議 題

#### ■ ①前回会議内容確認

#### ■ ②会則(案)について

#### ■ ③組織図(案)について

- ◎前回開催の委員会での意見をもとに、組織の効率化を図るため役員の数及び委員会の数、委員の人数の削減を行った。
- ◎委員会については、国会議員、県議員への陳情、要望の検討、実施を行なう委員会と国政、県知事、県議会議員各選挙活動への対応を行なう委員会を設ける。
- ◎会則(案)第3条の目的とは別に支部会員へ説明を行なうための政治団体の設立の必要性の分かりやすい資料を作成いただきたい。

#### ■ ④会費について

#### ■ ⑤その他

- ① 意見交換を行い次の意見が出された。
  - ・入会は任意であるが、設立を理由に協会を退会する会員の防止、政治研究会活動情報を未加入の協会会員へ発信するかの問題等課題がある。
  - ・今後任意の団体としてどれだけの会員を集めることができるかも課題であり、設立後も継続して会員増強を検討していく必要がある。
  - ・議員の方はチケット購入だけでなく、選挙協力も必要であり、選挙の時にどれだけ協力できるかも検討していく必要がある。
  - ・会員は300名で、会費収入は1,000,000円を予定している。支出は、政治資金規正法に基づくパーティーのチケット購入、事務所協会職員へ事務を委託するにあたっての事務所協会への事務委託金を予定している。
  - ・費用対効果があり、議員に強く陳情、要望できる強い組織にしていきたい。
  - ・県議員、市町村議員への陳情、要望については支部独自ではなく、政治研究会会長名で県全体の意見として行い、協会活動と峻別して行うことが望ましい。
  - ・福岡県内の建築設計三団体と設計活動や団体活動について連携を図るうえで、他会は政治研究会の設立が難しいため、当協会が政治研究会を立ち上げた場合、代表して議員に陳情、要望を行うことになる。

#### ■ ⑥次回委員会開催について

- ◎次回は3月に開催し、具体的な設立に向けての協議をすすめていく。それまでに委員長、副委員長、事務局で資料の準備をすすめていく。

## 第4回組織再編検討委員会記録

**日時** 平成28年1月26日(火)17:00～18:00

**会場** (株)アースコーポレーション

**出席者** 会長：井上 精二 委員長：岩本 茂美 副委員長：西 洋一

委員：早田 倫明、林 カツ子、久松 博幸、中山 俊治、桜庭 公生、古野 章、丸山 謙一、西岡 康伸、高巢 光男

オブザーバー：高崎 徳彦、山本 一郎、金子 英造、藤本 孝行、小野 繁男、望月 昇、佐々木 雄一

### 議 題

#### ■ ①前回会議内容確認

#### ■ ②組織図案について

#### ■ ③組織再編の骨子

◎資料3に基づき、西副委員長よりこれまで協議された内容をまとめた組織再編の骨子の説明がなされた。

#### ■ ④平成28年度予算案について

#### ■ ⑤その他

① 意見交換を行い次の意見が出された。

- ・福岡支部以外の支部から会長が選出された場合は、福岡地区担当副会長が、福岡市等の行政及び福岡地区の関係団体との折衝にあたっていく。
- ・福岡支部が県本部に統合された場合、福岡支部の活動は全て県本部の事業の一部となり、講習会、研修会、見学会、交流会等は他の4支部会員も参加できるようになる。
- ・福岡支部が県本部に統合された場合、他の地区と活動内容等バランスが取れなくなる面があるので、現在の関係を維持するためかたちだけでも福岡支部を残すことはできないか。
- ・創立40周年事業も控えており、財務的余裕がないため県本部と福岡支部が統合し経費の削減を図ることが必要である。また、業務の効率化を図ることも必要である。

#### ■ ⑥次回委員会開催について

◎次回は3月に開催し、本日意見がでた資料を修正し、短期的目標である県本部と福岡支部の統合について、協議を行う。

# 4

## 平成27年度九州・沖縄ブロック協議会・第2回会長会議報告

- 日時** 平成28年1月19日(火) 14時00分～17時00分  
**会場** 福岡建設会館3階304会議室(福岡市博多区博多駅東3-14-18)  
**出席者** 福岡会10名、佐賀会2名、長崎会2名、熊本会2名、宮崎会2名、大分会3名、鹿児島会1名、沖縄会1名

九州・沖縄各県の建築士事務所協会会長が集まり、幹事会の大分会の中野会長が議長となり、日事連活動報告及び九州・沖縄ブロック協議会の運営課題、各会が抱えている問題等各单位会から提出された以下の議題についての協議、意見交換が行われました。また会議終了後に懇親会が開催され盛會に終了いたしました。

### 1. 開会

2. 九州・沖縄ブロック協議会 会長挨拶 (中野 満 大分会会長)

3. 日事連活動状況報告 (日事連副会長 井上 精二 福岡会会長)

### 4. 協議事項

- 1. 九州・沖縄ブロック協議会選出日事連役員・委員会委員について 【福岡会】
- 2. 九州・沖縄ブロック建築設計関係団体意見交換会準備会議開催について 【福岡会】
- 3. マンション建替型総合設計制度の活用による「階段室型老朽マンション」の建替の推進についての要望 【福岡会】
- 4. 日事連・建築士事務所賠償責任保険普及促進等について各单位会の取り組みについて 【長崎会】
- 5. 公共工事におけるCAD図面データと著作権について 【長崎会】
- 6. 若手建築士の育成について 【熊本会】
- 7. 会員への情報提供等について 【熊本会】
- 8. 若手育成・世代交代への取り組みなど 【宮崎会】
- 9. 協会会費の改定について 【鹿児島会】
- 10. マンション等の基礎工事に関する相談対応について 【沖縄会】
- 11. 支部の有無と位置付け等について 【大分会】
- 12. 日事連役員の改選について
- 13. その他
- 14. 平成28年度総会・第一回協議会の日程について

### 5. 閉会

### 6. 懇親会



## 北九州支部からのお知らせ

## 1月定例幹事会議事録

**日 時** 平成28年1月13日(水)16時～18時 **場 所** 西部ガス ひなた  
**参加者** 林支部長、高崎、小野、金子、山口、佐々木、望月、久松、戸村、久我

**支部長あいさつ** 1月8日(金)北九州建築設計6団体の賀詞交歓会が開催されました。今年度は事務所協会が当番幹事でしたが、会員の皆様のお陰をもちまして盛会のうちに滞りなく終えることができました。お世話をされたみなさんご苦労様でした。



建築6団体の当番幹事  
林支部長の主催者挨拶



事務所協会のテーブルに集合



北九州市長、戸町議長  
はじめ来賓の皆様

## 議 事

## ▶ 1. 次年度支部の役員選考委員会の件

- ・ 1月24日を締切として役員選考委員を募集する。自薦、他薦問わない。
- ・ 同時に次期支部長の立候補者を自薦、他薦で募集する。
- ・ 応募者がいない場合は執行部に一任する項目も入れる。
- ・ 選考委員長は選考委員の中から選出する。
- ・ 1月25日～2月8日の間に役員選考委員会を開催して2月9日の幹事会までに支部長を決定し2月9日の幹事会で承認をもらう。

## ▶ 2. 事務局報告

◎政経研究会及び組織再編検討会 1月26日

■説明会・懇親会出席予定 ……山本、高崎、金子、林、久松、藤本、佐々木

■説明会出席予定 ……………小野、望月

●県本部…井上会長、岩本副会長、西常任理事、早田常任理事、小西事務長

●筑豊支部…永野、古野、丸山、西岡 ●県南支部…中山、桜庭 ●大牟田支部…高巢



北九州市において政治研究会、  
組織再編検討委員会が行われました



二次会場です。大いに盛り上がりました。

◎ゲストの森直氏(協会設立時役員)に設立時からの経緯、歴史、体験談をお聞きした。

◎2月12日開催の北九州市都市景観賞の表彰式出席予定者…林、久松、小野、山口、望月

## ▶ 3. その他

- ・ 金子氏に青年部会の発足準備会の報告あり。青年部会の発足も順調に進んでいる。
- ・ 次期会長候補について(福岡支部からばかり選出するのはおかしい。)
- ・ 2月13日女性部会の見学研修の協力依頼(山口氏より)。1月11日に山口、林で下見に行った。協賛品の募集をお願いする。(西部ガスより提供の申し出あり)

## 筑豊支部からのお知らせ

### 三役会・幹事会のご報告

#### 三役会を開催いたしました

- 日 時 …… 平成28年1月21日(木)17時～
- 場 所 …… 樹
- 議 題 …… ・平成28年29年度会長候補者の推薦について  
・政治研究会立上げ検討委員会について  
・組織再編成検討委員会について  
・平成28年度予算書提出について

#### 第3回幹事会を開催いたしました

- 日 時 …… 平成28年1月21日(木)17時30分～
- 場 所 …… 樹
- 議 題 …… ・平成28年29年度会長候補者の推薦について  
・政治研究会立上げ検討委員会について  
・組織再編成検討委員会について  
・退会・新会員について  
・平成28年度予算書提出について  
・平成28～29年度役員改選について

### 今後の予定

- 平成28年2月の予定(役員会及び幹事会)はありません。

## 福岡支部からのお知らせ

平成28年 福岡建築倶楽部新年の集い 開催のご報告



平成28年1月22日（金）タカクラホテルにおいて「平成28年福岡建築倶楽部新年の集い」が開催されました。事務所協会からは74名の会員・賛助会員の方にご参加いただきました。

年に一度、福岡建築倶楽部7団体が集まる唯一のイベントです。2016年初めての顔合わせを皆様グラスを片手に楽しんでいらっしゃいました。今年は全体で300名近くの方々にお越しいただいたこともあり、大変盛況な会となりました。参加いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。



## 県南支部からのお知らせ

### 平成27年度 県南支部 賛助会員との懇親会を行いました

毎年の恒例となりました新年会を兼ねた賛助会員との懇親会が、1月15日（金）にウエディングシンシアで開催されました。正会員、賛助会員合わせて55名の方々に参加頂き大変盛況な新年会となりました。

山田支部長の年頭の挨拶にはじまり、中野前支部長の乾杯のご発声を皮切りに懇親会が始まりました。本年は例年と会場も料理もちょっとおしゃれに変わり（山田支部長の好み！）おいしい料理とお酒を前に、会員と賛助会員の談笑の輪が会場内にひろがり、大変賑やかになりました。アトラクションは会員による手品が行われ、会場は笑顔で溢れ大いに盛り上がりました。

中締めは賛助会員代表の万歳三唱で閉幕しました。ご参加いただいた沢山の会員、賛助会員の皆さま方に厚く御礼申し上げます。本会にて元気を頂き、本年も気持ちよくスタートされることと思います。さて名残りは尽きないですが、次は久留米の夜の二次会へ……



広報渉外委員長 横溝 當一



## 大牟田支部からのお知らせ

### 幹事会のご報告

日時・場所 平成28年 1月25日(月) 18:30～ 事務局 会議室にて

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

#### ■ 1. 報告事項

- ①1月7日(木) ● 建設関連団体賀詞交歓会(グランドハイアット福岡)
- ②1月8日(金) ● 県庁関係課新年挨拶
- ③1月9日(土) ● 臨時幹事会〔新年会について〕  
● 支部新年会(漁師村)  
出席者:会員8名、賛助会員9名、事務1名、計18名
- ④1月13日(水) ● 第11回常任理事会  
● 本部新年会
- ⑤1月18日(月) ● 教育・研修委員会〔鮎川氏、田中委員長〕
- ⑥1月19日(火) ● 日事連九州・沖縄ブロック協議会 第2回会長会議
- ⑦その他 ● 1/ 9(土)賛助会員〔福岡トーヨー(株)〕入会承認  
● 1/10(日)消防出初式  
● 1/15(金)消防出初式お礼状  
● 1/22(金)藤丸さとし 新春の集い  
(ホテルニューガイヤ オームタガーデン)

#### ■ 2. 協議事項

- ① 次期会長候補者推薦について〔2月5日(金)〕  
次期会長候補者選考委員選出について〔1月29日(金)〕
- ② 平成28年度予算・事業計画について
- ③ 会員増強について
- ④ 支部役員改選について
- ⑤ 平成28年度キャンペーン開催主管について
- ⑥ その他



次回幹事会 : 平成28年 2月 22日(月) 18:30～ 事務局にて

## ～大牟田支部だより～

### 平成28年 新年会

日時 平成28年1月9日(土) 18:30～

会場 食楽 漁師村

出席者 会員8名,賛助会員9名,事務1名 … 計18名

今年最初の支部恒例「新年会」を実施しました。  
 総会・納涼会・新年会と夫々2期で  
 会場を11ヶ所廻った事になります。



支部長より挨拶



乾杯の音頭は  
 荒木相談役から



本田賛助会会長の  
 万歳三唱で締め括り



# 6

## 会員動静

### 新入会員のご紹介

事務所名 (株)たけなわ 一級建築士事務所

福岡支部に入会されました

■会務代表者：山本 敏也 ■所在地：福岡市西区上山門

会社名 (株)和 's (わーず)

福岡支部賛助会に入会されました

■担当者：下村 万紀 ■所在地：春日市平田台  
■営業種目：タレ幕関連、のぼり、看板、シール

会社名 福岡トーヨー(株)

大牟田支部賛助会に入会されました

■担当者：桜井 重信 ■所在地：大牟田市下白川町  
■営業種目：金属製建具、ガラス工事  
住宅建材  
(サッシ、インテリア建材、エクステリア、タイル建材、キッチン、浴室、トイレ、外壁、他)



<http://www.lixil-madoler.jp/5000043/>

## 書籍のご案内

法改正に合わせて新しい書籍が発行されました。ぜひ業務にご活用ください。

**建築士法による重要事項説明のポイント** 建築士事務所協会会員 ⇒ 1,263円 一般 ⇒ 1,404円

平成27年6月25日の法改正に合わせ、既刊「改正建築士法による重要事項説明のポイント」が改訂され、「建築士法による重要事項説明のポイント」として発行されました。契約に至る流れの中で、重要事項説明(法第24条の7)、契約(法第22条の3の3)、書面の交付(法第24条の8)の関係を法改正に基づき丁寧に解説しています。

**改正建築士法による設計受託契約等のポイント** 建築士事務所協会会員 ⇒ 1,458円 一般 ⇒ 1,620円

書面による契約を行う場合に、書式や手順等、再委託をはじめとするさまざまな対象業務を解説し、記載例や法定事項の記載などについてのQ&Aを掲載しています。



## 事務局より

ドイツの**デュッセルドルフ**は知る人ぞ知る美術の町。その美術館にドイツの実業家ゲルダ・ケプフ夫人が寄贈した、第一級ガラスコレクションを見られる「**アール・ヌーヴォーのガラス**」展が福岡市博物館で展示されています。これほどまとまったコレクションが出るのは日本では初めてのこと。

アール・ヌーヴォーと言えば曲線。花や昆虫、植物などのモチーフを職人たちは滑らかな曲線で表現しました。有機的でリアルな姿をグロテスクだと思ってしまう方もいらっしゃるかもしれませんが、このようなスタイルが生まれた背景には、19世紀末から急速に進んだ産業革命があります。テクノロジーは爆発的な進化を遂げましたが、一方で建物や日用品は古典様式やゴシック、ルネサンスといった昔のスタイルから抜け出せずにいました。マンネリ化したデザインを革命したのが**アール・ヌーヴォー**という装飾美術の運動です。アール・ヌーヴォーが取り入れたモチーフは「道端でよく見かけるような草花や、トンボや雀」。歴史や神話の題材ではなく、人間以外のものを主役にする考え方はそれまでのヨーロッパにはなかった志向でした。アール・ヌーヴォーはフランス語で「**新しい(Nouveau)芸術(Art)**」。まさに美術史を大きく動かした運動でした。

アール・ヌーヴォーでは最新素材としてガラスが積極的に使われました。透明なガラスに彫刻や模様を施す**ヴェネツィアガラス**、**ボヘミアガラス**が一般的だったガラス工芸を覆したのが**エミール・ガレ**です。ガレの作品の特徴は曇りガラスの柔らかな光で表現される、花々や昆虫のモチーフ。これには透明なガラスの層の間に不透明ガラスを挟みこむ高度な技術が用いられました。通常は色ガラスを多用すると冷却の途中でひび割れてしまうのですが、ガレがどのようにこの色合いを生み出したのか資料は残されていません。

ガレの他にも**パリ**、**アルザス・ローレーヌ**地方で多くのガラス工芸家が活躍し、アール・ヌーヴォー全盛期の30年間で技術が一気に発展しました。しかし職人の手作り志向が強かったアール・ヌーヴォーは大量生産に向かず、1900年代に入ると直線的な**アール・デコ様式**に取って変わられ、衰退することになります。ガレのガラス工房も1931年に閉鎖されてしまいました。

さて今回の展覧会ではガレを始めとしたアール・ヌーヴォーの作品が135点お目見えします。工芸家たちの新世紀への憧れと挑戦に思いを馳せながら100年前のガラスの輝きを堪能してみたいはいかがでしょうか。



アール・ヌーヴォーの流れる曲線フォルム



デュッセルドルフ美術館所蔵  
「アール・ヌーヴォーのガラス」

- 2016年2月11日(木・祝)～3月27日(日)
- 会場 福岡市博物館
- 開館時間 午前9:30～午後5:30  
(入館は閉館の30分前まで)

詳細はHPをご覧ください  
<http://artnouveau.fukuoka.jp/>